

I 社会福祉法人 杜の会 事業報告

1) 2018(平成 30)年度事業報告について

法人設立から 3 年目となる 2018 年度は、当初より重点課題としていた人財の育成・確保を推し進め、新規事業として訪問リハビリテーションおよび訪問看護ステーションを開始することができました。このことにより、利用者の皆様への多様なサービスの選択肢を提供できることとなりました。

また、より安全で快適なサービス環境を提供するため、増改築および防水、外壁補修工事については年度を跨ぐ計画で実施いたしました。

2) 理事会・評議員会等の開催状況

【理事会】

回	開催日	議事内容	
1	2018. 6. 6	報告	1. 2017（平成 29）年度下半期苦情解決状況報告について 2. 稟議書について 3. 社会福祉充実残高算定について
		議決	1. 2017（平成 29）年度事業報告及び決算・監事監査報告の議決について 2. 2018（平成 30）年 8 月 1 日からの訪問リハビリテーション事業及び訪問看護ステーション事業開始の議決について 3. 2018（平成 30）年 8 月 1 日からの訪問リハビリテーション事業及び訪問看護ステーション事業開始に伴う定款変更の議決について 4. 平和の杜既存建物改修工事・増築工事・改修工事の議決について 5. 平和の杜大規模修繕工事の議決について 6. 就業規則・嘱託員就業規則・パートタイマー就業規則・再雇用規程の改定施行の議決について
2	2018. 8. 23	報告	1. 理事長の職務施行の状況について 2. 平和の杜増築工事について（現況報告） 3. 変更後の定款・許可書と登記事項証明書について
		議決	1. 平和の杜大規模改修工事の指名競争入札における予定価格の議決について 2. 平和の杜大規模改修工事における設備資金の借入内容の議決について 3. 平和の杜増築工事及び大規模改修工事に伴う補正予算案の議決について 4. 平和の杜訪問リハビリテーション運営規程制定の議決について 5. 平和の杜訪問看護ステーション運営規程制定の議決について
3	2018. 12. 10	報告	1. 理事長の職務の施行の状況について 2. 平和の杜大規模改修工事の入札結果と工事請負契約について 3. 平和の杜大規模改修工事のⅠ期工事（防水工事）の完了と支払いについて
		議決	1. 経理規程の改正施行の議決について
4	2019. 3. 6	報告	1. 理事長の職務の執行の状況について 2. グループホーム福井倶楽部の実地指導結果について
		議決	1. 2018（平成 30）年度最終補正予算について 2. 2019（平成 31）年度当初予算及び事業計画について

			3. 特別業務職員（統括責任者、施設長、顧問）との雇用契約について 4. 管理職（2名）の号棒について 5. 就業規則改定について 6. 嘱託職員就業規則改定について 7. パートタイマー就業規則改定について 8. 給与規程改定について 9. 育児介護休業規程改定について
--	--	--	--

【評議員会】

回	開催日	議事内容	
1	2018. 6. 21	報告	1. 2017（平成 29）年度事業報告について 2. 2017（平成 29）年度下半期苦情解決状況報告について 3. 社会福祉充実残額算定について 4. 就業規則等の改定施行について 5. 平和の杜既存建物改修工事・増築工事・改修工事について 6. 平和の杜大規模修繕工事について 7. 監査結果報告書について
		議決	1. 2017（平成 29）年度決算計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 2. 訪問リハビリテーション事業及び訪問看護ステーション事業開始に伴う定款変更の議決について

【第三者委員への報告】

回	開催日	議事内容	
1	2018. 12. 10	報告	1. 2018（平成 30）年度上半期における苦情解決状況

3) 法人内各事業所の概況…次頁

- Ⅱ… (1) 介護老人保健施設平和の杜
(2) 通所リハビリテーション
(3) 平和の杜居宅介護支援事業所
(4) 平和の杜訪問リハビリテーション
(5) 平和の杜訪問看護ステーション
Ⅲ… グループホーム福井倶楽部

4) 行政監査の実施

2019（平成 31）年 2 月 4 日 グループホーム福井倶楽部 実地指導の実施

5) その他

2018（平成 30）年 7 月…平和の杜 増築工事 着手
2018（平成 30）年 8 月…第 2 回 杜の会夏祭り 開催
2018（平成 30）年 8 月…平和の杜増築工事 完成
2018（平成 30）年 9 月…平和の杜大規模改修工事Ⅰ期（防水工事）着手
2018（平成 30）年 10 月…平和の杜訪問リハビリテーション事業開始
…平和の杜訪問看護ステーション事業開始
2018（平成 30）年 11 月…平和の杜大規模改修工事Ⅰ期（防水工事）完了

Ⅱ 介護老人保健施設 平和の杜

(1) 介護老人保健施設 平和の杜

1) 2018(平成 30)年度事業報告について

2018 年度は介護報酬改定が行われ、老健の使命でもある在宅復帰に力を入れ、看護・介護・リハビリスタッフ等の多職種連携により利用者へのサービス提供を行いました。

重度要介護者についても体調の管理とリハビリテーションを継続し、長期療養支援を行うことができました。

2) 平和の杜の概況

① 職員配置

2019 年 3 月末現在

	施設長	支援専門員	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定 数	1	1	1	8	19	1	1	0	0
配置数	1	2	2	12	30	1	6	4	4

※医師は施設長、医師・管理栄養士・リハビリ・事務員・施設管理は通所リハも兼務

② 利用者の状況

a. 利用者定員 80 名（一般棟 40 名・認知症専門棟 40 名）

b. 月平均の入居者数

2019 年 3 月末現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
77.4	76.9	76.6	76.4	76.4	76.0	73.5	74.9	77.2	77.9	78.1	79.3	76.7

c. 利用者の年齢構成

2019 年 3 月末現在

	65才未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	平均年齢
男 性	3	1	4	14	4	81.3
女 性	1	0	4	22	22	88.1
合 計	4	1	8	36	26	85.9

d. 利用者の介護度

2019 年 3 月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
2019.3.31	18	19	12	20	6	2.7

3) 事業内容

① 利用者援助、施設サービス計画

a. 在宅復帰・在宅支援

2018 年度も前年度同様に利用者・家族の理解・協力のもと在宅復帰率 30%以上（平均 61.03%、前年度 52.03%）を維持し、年間で 49 名（前年度 54 名）の利用者が在宅復帰をしました。また在宅復帰された方のショートステイ利用についても、関係事業所（居宅介護支援事業所等）と連携しながら実施できました。現在入所中の軽度要介護者についても安心して自分らしく地域で生活して頂けるよう、利用者・家族の意向を確認しながら、継続して在宅復帰への支援をしていきます。重度要介護者については、特別養護老人ホーム等の終の棲家で生活できる期間までの長期療養支援、その中で必要となった方へはターミナルケアの提供等の支援をしていきたいと考えます。

b. リハビリ

リハビリテーション実施状況は、短期集中リハビリテーション（2,936 件）や個別リハビリテーション（ショートステイ 929 件）の充実した対応に加えて、認知症の利用者へ

の関わり方を評価・実施する認知症短期集中リハビリテーション(353 件)にも取り組みました。また、土曜日も 1 名以上のリハビリ職員を配置し、対応できるようにしました。その他、伝達講習会の開催や他施設への講師派遣を行い、職員への技術的指導を行いました。

今後も、提供するリハビリの量だけではなく、その質も向上が図れるように次年度への維持そして更なる向上に取り組めます。また、リハビリテーション職員が協働して支援するよう努めます。

c. 健康管理

ア 健康の維持増進

2012 年度の介護報酬の改定で新設され、肺炎・尿路感染・带状疱疹を発症し施設内で治療を行った場合に算定可能な所定疾患施設療養費を活用し、2018 年度も前年度同様肺炎・尿路感染の発症・重症化予防に重点を置きました。

当施設における 2018 年度、所定疾患別施設療養費算定状況は下記の通りです。

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
尿路感染	算定人数	1	0	0	0	2	0	0	0	0
肺炎	算定人数	3	0	1	4	0	0	5	2	0

1 月	2 月	3 月	合計
0	0	0	3 名
3	1	1	20 名

当施設は在宅復帰支援に重点を置いています、長期療養となっている利用者も多く長期利用者には定期的に採血を施行、また必要時採血以外に施設内で可能な検査等異常の早期発見に努めています。施設長が診察し医療機関での治療が必要と判断した場合には家族へ適切な場所での療養を適宜提案しており、今後も継続が必要と考えます。

また、2018 年度は 1 名の利用者に対し、施設でのターミナルケアを行いました。老健の使命は在宅復帰に向けてリハビリを行うことですが、多死社会と言われる近年は老健にもターミナルケアの提供が求められています。次年度も、施設でのターミナルケアを希望され医師が可能と判断をした場合は、ターミナルケアを行います。

イ 感染対策

感染対策委員が中心となり、職員へ内部研修やラウンドを通して正しい感染予防策の周知・徹底に努めました。2018 年度、全国で施設内での集団感染が問題となりましたインフルエンザ、ノロウイルス性食中毒の発症はありませんでした。次年度もインフルエンザワクチン予防接種率を維持し、インフルエンザの感染予防に努めます。その他の感染症についても流行状況を把握し、利用者の感染予防に努めます。

ウ 褥瘡対策

褥瘡を作らない「予防」に重点をおき、褥瘡有病者に対しては医師・看護職員が中心となり施設内での早期治癒を目指し治療を行い、有病者全員が施設内で治癒しました。年間の平均褥瘡有病率は 0.71%で、全国の老健の 1.16% (2016 年度) を下回っています。次年度も、多職種が連携し栄養面等様々な視点から褥瘡予防・治療に対する意識を高く持つことができるよう、褥瘡対策委員会を中心に研修会を企画する等活発な活動を行います。

d. 倫理的課題の取り組み

接遇向上委員会では毎月の接遇目標、マナーアンケートを実施し接遇向上に努めました。身体拘束廃止委員会では抑制廃止マニュアルの改定、虐待の芽チェックリストでの

日々の業務を振り返る機会の提供等を行いました。

e. 食事

生活の楽しみである「食べること」が、利用者自身で行えるように援助を行いました。摂食・嚥下機能に障害がある場合には、医師、言語聴覚士、管理栄養士など多職種が協力し、美味しく安全な食事摂取ができるように栄養管理を行います。また、利用者の疾患を考慮し、健康の維持・増進がはかれるよう、適切な療養食をこれからも提供していきます。

f. 施設サービス計画の作成、変更

前年度は在宅復帰、長期療養を目標として利用される方と家族のニーズに合せた計画を他職種協働で作成することができました。次年度も利用者のニーズに合わせた計画を作成し、在宅復帰支援や長期療養支援の目標が達成できるように支援します。

②継続教育

教育系の企画・運営のもと下記研修を実施しました。研修内容や実施回数は介護保険法や札幌市からの指導により計画したもので、次年度も継続して行います。

a. 外部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/15	脳画像の見方と予後予測～運動麻痺専門の評価と治療の考え方	リハ職員	1
5/4	不良姿勢に対するアプローチ	リハ職員	1
5/8	人事評価に基づく人材育成のあり方	顧問	1
5/8	リーダー研修	介護職員	1
5/11	介護・口腔ケアセミナーサルコペニアの嚥下障害とリハビリ栄養	リハ職員	1
5/13	基礎から学ぶセラピストのための筋膜リリース	リハ職員	1
5/24	適切なケアマネジメント手法の策定について他	居宅職員	1
5/26	ケアリハビリテーションに活かす認知症の理解	リハ職員	1
6/2	徒手療法・運動療法の効果を高めるセルフエクササイズ	リハ職員	1
6/6	「不安・不穏に対する看護の力」セミナー	看護職員	1
6/16	姿勢・動作分析から展開する局所と全身のアプローチ	リハ職員	1
6/19	事例検討会	居宅職員	1
7/8	平成30年度新人教育プログラム必須初期研修会	リハ職員	1
7/8	歩行分析に基づくアプローチ	リハ職員	1
7/14	訪問リハビリ管理者養成研修会 STEP 1	リハ職員	1
7/20	西区介護支援専門員研修在宅医療を行う上で支援員に望むこと	居宅職員	1
7/22	神経科学から考えるパーキンソンのリハビリテーション	リハ職員	1
7/26	人が人をケアするという事	居宅職員	1
8/18	ケアマネ受験対策講座	介護職員	1
8/27	札幌市ケアマネジメント能力向上研修会	居宅職員	2
8/27	平成30年度北海道高齢者虐待防止推進研修会	看護職員	1
9/8	排便障害とケアの方法	訪看職員	1
9/8	片麻痺患者に対するリハビリ実技研修	リハ職員	1
9/16	がん患者における介護・終末期のリハ・ケアを考える	訪看職員	1
9/16	人生最後の着地姿勢（テレマーク）を支える	訪看職員	1
9/26	アンガーマネジメント研修	訪看職員	1
9/29	スキルアップ研修（アンガー）	顧問	1

11/8	対人援助レベルアップ研修	顧問	1
11/9	第 26 回北海道老人保健施設大会	介護職員	3
11/12	認知症スキルアップ研修	介護職員	1
12/6	アンガーマネジメント講座	顧問	3
12/10	病院でない施設看護師に専門性と具体的な動き方	看護職員	2
12/10	平成 30 年度第 1 回札幌市介護支援専門員指導者講習会	居宅職員	2
12/13	アンガー初心者	顧問	1
12/19	NLP 入門	顧問	1
1/13	西区新人ケアマネ研修交流会	居宅職員	1
1/17	平成 30 年度第 2 回札幌市支援専門員指導者研修	居宅職員	1
1/21	医療的ケア児支援者養成研修	訪看職員	1
1/24	アンガーマネジメント初心者編	事務職員	1
1/28	医療的ケア児支援者養成研修	訪看職員	1
1/30	研修働き方改革で何が変わる・コーチングを学ぼう	顧問	1
2/4	医療ケア児支援実態研修	訪看職員	1
2/7	アンガーマネジメント中級編	事務職員	1
2/23	施設ケアマネジメント研修会	事務職員	1
2/28	アンガーマネジメント初心者編	訪看職員	1
3/7	難病患者が望む療養支援体制とは	訪看職員	1
3/7	アンガーマネジメントタイプ編	訪看職員	1
3/8	神経難病の症例報告と質疑応答	訪看職員	1
3/9	やってみよう訪看の事業所自己評価	訪看職員	1
3/14	アンガーマネジメントヘルス編	事務職員	2
3/16	札幌訪問看護ステーション管理者交流会	訪看職員	1
3/23	家族が認知症になっちゃった	顧問	1

b. 内部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/23. 26	平成 30 年度 事業計画	全職種	40
4/25	機能訓練の計画と実践	全職種	15
5/22. 31	倫理及び法令順守について	全職種	38
5/29	普段の感染対策で感染症を防ぐ	全職種	21
6/5	褥瘡予防について	全職種	20
6/22. 26	スタッフ育成について	全職種	27
7/5	食中毒予防について	全職種	27
7/26	利用者の転倒・褥瘡・拘縮予防研修会	全職種	18
8/20	「不安・不穏」に対する看護の力	全職種	19
8/21. 27	ストレスチェックについて	全職種	36
9/18. 28	災害時の対応について	全職種	36
9/25	北海道理学療法士会新人教育プログラムについて	全職種	24
10/9	訪問看護とは	全職種	23
10/16. 30	AED と心肺蘇生	全職種	28
10/25	「人が人をケアすること」を受講して	全職種	20
11/22. 29	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	28
11/27	北海道高齢者虐待防止推進研修会に参加して	全職種	22

12/21	ノロウイルスについて（吐物処理方法）	全職種	9
12/25	「メンタルヘルス研修」ストレス対処法	全職種	16
1/10. 17. 22	これからの社会を生き抜くために今知っておくべきこと	全職種	37
1/21. 25	接遇について	全職種	26
2/19. 28	新アセスメントスコアシートの解説	全職種	29
2/26	ナースと多職種との連携について	全職種	19
3/12. 14. 23	褥瘡予防について（新人職員対象）	全職種	6
3/19. 22	2019年4月からの規則・規程等の変更について	全職種	29

※内部研修については通所、居宅、福井倶楽部合同参加

③地域との連携計画

- ア 「杜のこえ」の発行（毎月） イ 病院・居宅介護事業所との連携
ウ ボランティアの拡充 エ 夏祭りを実施し地域の方の参加の呼びかけ
オ 専門学校（介護）への講師

④事故予防対策

2018年度の事故報告は35件（前年度57件）あり、入院が必要となった重大事故は2件（前年度7件）、前年度より事故報告数は大幅に減少しました。次年度も事故報告件数が増加しないように、事故原因の詳細な分析、早急かつ利用者の個別性を考慮した対策立案を行い、転倒による受傷、重大事故を予防していきます。

⑤実習の受け入れ

2018年度は2校5名の介護福祉士専門学校の実習生の受け入れを行いました。介護職員は2025年までに約250万人が必要と言われ、専門職の育成も老健の果たすべき役割と考え次年度も引き続き取り組みます。

a. 介護福祉士養成課程実習

実習期間	学校名	人数
11/5～11/22、1/21～2/8	札幌医療秘書福祉専門学校	計4名
11/15～12/6	札幌医学技術福祉歯科専門学校	計1名

b. その他の実習

- ・青葉学園 北海道看護専門学校 2年生 老年看護学実習Ⅰ
8/20～9/7 11/12～11/30 各2名 計4名
- ・西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 理学療法学科 3年生 評価実習
11/5～11/12 11/26～12/18 計3名
- ・北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科 3年生 理学療法評価学臨床実習
8/20～9/29 計1名
- ・札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 3年生 臨床実習3(高齢者系)
2/18～3/1 計1名

⑥人財確保

介護福祉士専門学校の定員割れが続く中、介護福祉士の需要は今後ますます高まると思われます。今後も介護福祉士養成校と連携を取り、実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行い、平和の杜が就職の場所として選ばれるような施設を常に目指して行きます。

⑦防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。
定期の消防設備点検を実施しました。

⑧苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。
第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（ ）	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑨各種会議・委員会実施状況

会 議 等	実績	委 員 会 等	実績
運営会議	12回	感染対策委員会	12回
給食会議	12回	褥瘡対策委員会	12回
入所判定会議	53回	事故予防対策委員会	56回
サービス担当者会議	160回	身体拘束廃止委員会	12回
入所会議	12回	接遇向上委員会	12回
行事会議	12回	看護業務改善委員会	12回
		介護業務改善委員会	12回

⑩行事等実施状況

4月	春のカラオケ大会 フレンチトースト作り	10月	秋の大運動会
5月	茶話会 あんみつ作り	11月	秋の屋台 秋のお茶会
6月	流しそうめん パフェ作り	12月	クリスマス会
7月	中華フェア・スイカ割り フルーツポンチ 外出レク（食事会）	1月	新年会 カレーライス作り
8月	夏祭り 外出レク（食事会）	2月	節分鬼退治ゲーム 鬼退治ボーリング コンサート
9月	敬老会 外出レク（食事会）	3月	ひな祭り お菓子作り

4) まとめ

2018年度は、自宅以外の住宅系施設への退所支援にも力を入れ、安定した在宅復帰率を維持することができました。また、入所支援では関係事業所と連携し、在宅の方の緊急でのショートステイや入所の調整を行ってきました。次年度はさらに入所調整を円滑に行い、在宅復帰率と利用率をどちらも維持し、地域の方が安心して在宅生活を送れるように多職種で連携してサービスを提供していきます。

(2) 平和の杜 通所リハビリテーション

1) 2018(平成 30)年度事業報告について

前年度に引き続き、質の高いリハビリや運動を中心としたサービス提供に努めており利用者個々のニーズに寄り添い運動メニューを提案・実施・評価等にスタッフ共通で取り組みました。利用者数に関しては、月利用者数の変動が多く、利用者数の延べ数では低下した状況となってしまいました。要因としては、在宅生活が困難となるような病気を発症する方が多くいたほか、脳疾患や心疾患などにより急死される方が多い年度でもありました。突然の急変は予測出来ませんが、利用者の既往歴・現病歴を把握し、これまで以上に日々の健康管理を強化し、予防・早期発見・早期受診・治療に繋がれるよう努めていきたいと思っております。また脳を活性化するシナプソロジーについてはサービス内容の一環として定着させることができ、毎回 15 分間提供する中で、効果として表情の豊かさや発声の機会増加などに役立っていると実感しております。今後、地域の方々をはじめ、外部の方たちにも取り組んでいただける機会作りにも力を注いでいく所存です。

2) 通所リハビリテーションの概況

① 職員配置

2019 年 3 月末現在

	施設長	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	(1)	0	0	4	(1)	(1)	0	0
配置数	(1)	(1)	1	8	(1)	5	(4)	(4)

() は兼務

② 利用者の状況

a. 利用者定員 40 名（要支援者含む）

b. 月平均の利用者数（前年度の平均は 24.5 名でした。）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
25.8	24.3	25.4	24.2	23.3	23.4	23.0	24.2	23.3	23.0	23.7	23.4	23.9

c. 利用者の年齢構成

2019 年 3 月末現在

	65未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	合計
男性	4	2	15	24	7	52名
女性	1	0	3	7	4	15名
合計	5	2	18	31	11	67名

d. 利用者の介護度

2019 年 3 月末現在

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要支援 1	要支援 2	合計
20	14	6	1	1	14	11	67名

3) 事業内容

① 処遇・援助

a. 通所リハビリテーションサービス計画書

担当者会議に参加し、利用者・家族へ生活習慣や要望・目標等を聞き取り、カンファレンスにてケアスタッフ全員で情報共有し、個別性の高い計画書作成を継続しております。日常生活上、不便に感じていることなどを確認しながら、生活の質を向上できる内容の経計画作成に努めました。計画書の内容は誰が見ても理解できるものにする為、専門用語などは出来るだけ使用しないように心がけました。

b. 食事

昼食前の嚥下体操を毎回実施しているほか、安易に食事形態を変更するのではなく、個々の嚥下状況・嗜好・摂取状況等の把握に努め、その方に適した食事形態・食事量を提供するなど、利用者と共に検討・変更・評価を行うようにしました。

c. 入浴

「安全で快適な入浴」を目標として、個人の身体機能・残存機能を把握し過剰介助の廃止、職員間で統一した支援、適切な介助・見守り等を提供できる取り組みを継続しております。

d. 排泄等

可能な限り同性介助を基本として、羞恥心に十分配慮できる体制を整えました。また、よりきれいな環境で排泄していただく為、トイレ内の定期点検を実施しました。車いすトイレ内には新たに手すりを設置し、環境を整えることで、残存機能を活用できるよう整備しました。新たに設置した手すりについては、福祉用具貸与で取り扱いしているものを設置し、常に在宅生活を意識するよう努めました。

e. 健康管理

日々のバイタルチェックや全身状態の観察・確認、必要時には家族や主治医と連絡を取り合うなど健康管理に努めました。また手洗い・うがいを強化し、感染症予防への取り組みを行うと同時に、食中毒発生時期やインフルエンザ流行時期等は、早い時期から予防策を掲示板へ張り出したほか、自宅から食べ物を持ち込むことをご遠慮いただくなど予防対策を継続的に行いました。

f. リハビリテーションの充実

理学療法士や言語聴覚士を中心に、より個々の身体状況や嚥下機能・失語や構音障害等の状態に合ったリハビリを提供しました。必要時には家屋調査や家族へ生活状況の聞き取りや、生活上の助言・指導など継続しておりました。

g. 身体的拘束の禁止の徹底

定期的に職員間で身体拘束マニュアルを確認し、身体拘束に対する意識を高めるように取り組んできました。

h. 各種会議・委員会

会 議 等	実績	委 員 会 等	実績
通所会議	12回	事故予防委員会	157回
業務改善会議	12回	感染対策委員会	12回
接遇向上委員会	12回		

i. 行事等実施状況

行 事		行 事	
○×クイズ王決定戦	4/17～4/20	すごろく大会	10/23～10/26
お花見ドライブ	5/1～5/4	喫茶まんぷく	11/12～11/16
個別お食事会	6/26～7/26	忘年会	12/19～12/21
夏祭り	8/4	新年会	1/2～1/4
納涼かき氷大会	8/20～8/24	北海道ご当地クイズ大会	2/18～2/22
敬老会	9/17～9/21	鍋パーティー	3/12～3/15

②内部研修

P6～7 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、居宅、福井倶楽部合同参加

③苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

④防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。
 定期の消防設備点検を実施しました。

4) まとめ

前年度に引き続き、利用者の出入りが多い年度であり、月延利用者数 600 名という目標については達成することができませんでしたが、利用に対して十分な満足度が得られないことによる利用中止者はごく少数であったことから、今後もサービス内容の充実・質の向上に取り組み、安定した利用者総数を確保できるよう努めていく所存です。

(3) 平和の杜居宅介護支援事業所

1) 2018(平成 30)年度事業報告について

2018 年度は 9 月に地震による停電等があり利用者の安否確認、緊急性の高い利用者への支援などその時にできる事を考え利用者支援にあたりました。

ケアマネジメントの質の向上を図るために包括センター主催の事例検討会や他法人との合同事例検討会の開催、困難事例の対応、実習生の受け入れなど職員のスキル向上を目指した 1 年でした。

2) 平和の杜居宅介護支援事業所の概況

①職員配置数

2019 年 3 月末現在

職 種	管 理 者	介護支援専門員
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	6 (2)

() は兼務

②利用者の状況

a. 要介護（国民健康保険連合会請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
145	153	149	147	145	141	147	147	148	143	138	143	1,746件

b. 要支援（地域包括支援センター請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
37	38	38	39	40	40	39	37	41	45	47	45	486件

③相談援助

訪問相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
158	166	162	160	159	145	160	160	162	158	154	158	1,902件

④その他（年間件数） 2018 年 4 月～2019 年 3 月分

a. 認定手続代行者数

101件

b. 新規契約者数

43件

c. 契約満了者

55件

※b・c は介護予防者を除く

d. 利用者紹介元

2018 年 4 月～2019 年 3 月

利用者の紹介元	件数
病院	8
地域包括支援センター	8
介護施設	12
居宅介護支援事業所	1
家族	9
要支援→要介護	5
その他	0
合計	43 件

e. 利用者の移行先

2018 年 4 月～2019 年 3 月

利用者の移行先	件数
病院	12
介護施設	15
サ高住等	3

死亡	14
要介護→要支援	3
その他	6
合計	53 件

⑤苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（ ）	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑥職員研修等

a. 内部研修

P 6～7 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月 日	研修会名	場 所	人数
5/24	介護支援専門員連絡協議会全体研修	札幌市社会福祉総合センター	1
7/20	西区介護支援専門員対象研修	西区民センター	1
7/26	人が人をケアするという事	自治労会館	1
8/27	札幌市ケアマネジメント能力向上研修会	わくわくホリデーホール	2
12/10	第1回札幌市介護支援専門員指導者講習会	札幌エルプラザホール	2
1/13	西区新人ケアマネ研修交流会	西区民センター	1
1/17	第2回札幌市介護支援専門員指導者研修会	北海道自治労会館	1

その他、西区第二包括主催の事例検討会（6/19、9/19、12/19、2/19）各 1～2 名出席。

他法人との事例検討会：五天山園居宅介護支援事業所と実施（10/16、1/8）全員 6 名出席。

3) まとめ

9 月まで職員の欠員が出ていたことや支援終了となる利用者も例年より多かったため前年度よりも利用者数が減少してしまいました。医療機関からの担当依頼が少ないこともあり、次年度は支援の質も高めるのはもちろんの事、医療機関からの依頼を増やせるように連携を強化していく 1 年にします。

(4) 平和の杜訪問リハビリテーション

1) 2018(平成 30)年度事業報告について

訪問リハビリテーションは利用者の生活ニーズを把握し、心身機能の維持や回復を図り、生活の質を高めるための支援ができるように職員一同自己研鑽を積み仕事に従事しました。また、利用者がいつまでも地域で自立した在宅生活が送れるように支援をさせて頂きました。

2) 平和の杜訪問リハビリテーションの概況

①職員配置数

2019 年 3 月末現在

職 種	管 理 者	理学療法士
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	(3)

()は兼務

②利用者の状況 2018 年 10 月～2019 年 3 月

a. 要介護

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
42	51	72	76	77	85	403名

※要支援 0 件

③相談件数

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	4	4	2	2	1	2	18件

④実施地域

西区	手稲区
10名	1名

⑤利用者の転帰先 (2018 年 10 月～2019 年 3 月)

利用者の転帰先	件数
通所リハビリ、通所介護	1
入院	2
その他	0
合計	3 件

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0

e	その他（ ）	0
---	--------	---

e	権利侵害	0
f	その他（ ）	0

⑦職員研修等

a. 内部研修

P 6～7（1）介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月 日	研修会名	場 所	人数
2018/7/14 ～ 7/16	第20回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP1	トラストシティカンファレンス仙台	1

3) まとめ

2018 年 10 月に事業を開始し、2018 年度は 11 名の利用者に訪問リハビリテーションを実施することができました。地域の関係機関に当事業所が周知されてきたことから、現在も利用者数は増加傾向です。また、訪問リハビリを卒業し、次のサービスへの移行を支援することにより、次年度から社会参加支援加算を算定することになりました。今後は、複数の職員がサービス提供に関わることがより多くなると予想されるため、職員間や事業所間の情報共有・連携が課題となります。次年度も職員一同研鑽を積み、利用者の生活の質の向上に励みます。

(5) 平和の杜 訪問看護ステーション

1) 2018（平成 30）年度事業報告について

杜の会では、今まで以上に地域の皆様のニーズに応えたいとの思いから、2018 年 10 月に訪問看護ステーションを開設いたしました。開設初年度は利用者数が少なく、体制整備や自己研鑽に重点を置き、地域のケア連絡会や地域の勉強会に参加した年となりました。情報公表の開示やホームページでの紹介もしていただき、また、地域の関係事業所へ訪問することで、少しずつ地域に認知していただけるようになりました。

2) 平和の杜訪問看護ステーションの概況

①職員配置数

2019 年 3 月末現在

職種	常勤	非常勤	備考
管理者（看護師）	（1）		看護職員と兼務
看護師	1	1	
事務職員	5		平和の杜と兼務

（ ）は兼務

②利用者の状況

a. 要介護

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	2	2	4	3	3	15名
延べ回数	3	7	11	16	12	13	62回

b. 要支援

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	1	1	1	1	1	6名
延べ回数	3	4	3	4	4	4	22回

c. 医療

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	0	1	1	1	1	1	5名
延べ回数	0	2	5	5	4	4	20回

d. 合計

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	4	4	6	5	5	26名
延べ回数	6	13	19	25	20	21	104回

③相談件数

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	2	2	3	3	0	1	13件

④その他（2019 年 3 月現在）

指示書発行機関 4 機関

指示書発行医師数 5 名

e. 利用者紹介元

2018 年 10 月～2019 年 3 月

利用者の紹介元	件数
病院	2
地域包括支援センター	2
介護施設	0

居宅介護支援事業所	5
家族	0
その他	0
合計	9 件

f. 利用者の移行先 2018 年 10 月～2019 年 3 月

利用者の移行先	件数
病院	1
介護施設	0
死亡	0
その他	0
合計	1 件

⑤苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

⑥職員研修等

a. 内部研修

P6～7 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

日時	研修会名	場 所	人数
9/22 (土)	家で生まれて家で死ぬシンポジウム i n 札幌	北海道大学大学院保健科学研究院	1
11/17 (土)	子ども在宅ケアネットワーク「支援が必要な子供たちを考える」	溪仁会ビル	1
10/25 (水)	エアマットや介護用ベッドなどの停電時や機能と使い方	T K P 札幌ビジネスセンター赤れんが前	1
10/25 (水)	「知っておきたい薬と健康の話」	ちえりあ	2
1/11 (金)	A L S について	北祐会神経内科病院	2
1/21. 28、2/4	札幌市医療的ケア児等支援者養成研修会	アスティ45	1
3/9 (土)	「やってみよう！訪問看護ステーションの自己評価」	ケアセンター栄町	1

3/7（木）	西保健センター難病研修会「難病患者が望む療養支援体制とは」	西保健センター	1
3/16（土）	「スタッフ育成とステーション経営と運営について」	T K P 札幌ビジネスセンター赤れんが前	1

他、西区・中央区・南区ケア連絡会に参加。

3) まとめ

10月に訪問看護ステーション開設となり、体制の整備はできましたが、利用者の獲得については今後の課題です。広報活動が続け地域に知っていただき、自己研鑽を続けながら、個々の質の向上も図ることができるよう努めます。

Ⅲ グループホーム 福井倶楽部

1) 2018（平成 30）年度事業報告について

2018 年度は利用者の身体機能の低下が著しく、特に後半は介助量が増大し利用者の入れ替わりが続きました。その為、町内会の行事に積極的に参加することが出来なく時間に余裕がない時もありましたが、その様な環境の中でも運営理念である明るく家庭的な雰囲気の中で皆様がにこやかで個性豊かに過ごす事が出来たと思います。

また、手づくりの甘酒やヨーグルトの提供、個別のリハビリ、終末期の対応等新たな取り組みや様々な経験をする事ができ有意義な一年になりました。入れ替わりが数名あり、身体機能、認知能力の低下やレベルの差が顕著となりました。

2) 福井倶楽部の概況

①配置職員

2019 年 3 月末現在

	管 理 者	計画作成担当者	介 護 職 員	看 護 職 員
定 数	(1)	1	3	(1)
配 置 数	(1)	(1)	7 (2)	1

*管理者は介護員を兼務。*計画作成担当者は介護員を兼務。*（ ）は兼務者の人数。

②利用者の状況

a. 利用者定員 9 名

b. 入・退所状況 (直近 3 ヶ月)

	1 月	2 月	3 月
入 居 者	1	0	1
退 居 者	1	1	1

c. 利用者の介護度内訳

2019 年 3 月末現在

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
3	2	1	1	1

3) 事業内容

①地域とのかかわり

地域のお店を利用させて頂いたり町内会の回覧板にホームの広報誌を入れて頂き地域の中のグループホームという位置づけを定着してもらえよう活動する事が出来ました。

②サービス

個別性とストレスのない穏やかな生活をテーマにサービスを提供しており、明るく家庭的な雰囲気で寄り添う介護が出来たと思います。

③事故報告

転倒 2 件、誤薬 4 件、喉詰まり（もち）1 件ありました。

④職員研修

副施設長・管理者向けレベルアップセミナー 1 名

アセスメント能力向上研修 1 名

北海道高齢者虐待防止推進研修会 1 名

メンタルヘルス研修 1 名

認知症 BPSD 対応研修 1 名

平和の杜内部研修には、毎月参加しホーム内で研修報告を行っています。

P6～7 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅等合同参加

⑤苦情解決の状況

- ・苦情の申し立てはありませんでした。
- ・第三者委員には、定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

⑥外部評価の実施

2018（平成 30）年 12 月 19 日に福祉サービス評価機構 K ネットにより実施しました。

4) まとめ

利用者の身体機能や認知能力の低下による転倒、職員の勘違いや見守りを最後まで行わなかった事による誤薬が数件ありました。特に後半は利用者への介助量が増え業務に追われがちが続き、都度業務改善を行うことで対応してきましたが、余裕がない事が多く職員本位になっていた事があったように思います。誤薬については薬箱を改良し見守りの強化をすることでそれ以降の誤薬はなくなりました。

次年度も個別のリハビリに力を入れ、利用者の身体機能の向上に努めそれぞれレベルやニーズに合った対応に心掛け利用者の皆様が地域の中でこやかに過ごせるようサービス提供に努めます。